平成 20 年３月期　第１四半期財務・業績の概況

平成 19 年８月 13 日

上場会社名　富士興産株式会社　　上場取引所　東証１部・大証１部
コード番号　5009　　（ＵＲＬ　http://www.fkoil.co.jp）
代　表　者　（役職名）　代表取締役社長
（氏名）　瀧　　洋二郎
問合せ先責任者（役職名）　取締役経営管理部長
（氏名）　戸上　岩男　　ＴＥＬ：(03) 3861－4601

（百万円未満切捨て）

１．平成 20 年３月期第１四半期の連結業績（平成 19 年４月１日～平成 19 年６月 30 日）

(1) 連結経営成績　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年３月期第１四半期	21,997	△4.7	15	－	38	－	51	－
19 年３月期第１四半期	23,093	29.1	△41	－	△44	－	△24	－
19 年３月期	100,668	4.3	458	△60.4	526	△54.1	577	－

	１株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益
	円　銭	円　銭
20 年３月期第１四半期	0.59	－
19 年３月期第１四半期	△0.28	－
19 年３月期	6.60	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
20 年３月期第１四半期	19,523	2,079	10.7	23.79
19 年３月期第１四半期	19,488	1,411	7.2	16.14
19 年３月期	23,744	2,028	8.5	23.21

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年３月期第１四半期	△2,245	△493	△13	1,992
19 年３月期第１四半期	△3,336	△83	△15	2,947
19 年３月期	△784	△401	△459	4,744

２．平成 20 年３月期の連結業績予想（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）　【参考】

平成 20 年３月期の連結業績予想につきましては、平成 19 年５月 15 日に発表いたしました数値を修正しておりません。

３．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　無
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無　：　有

［(注) 詳細は、２ページ【定性的情報・財務諸表等】　３．その他をご覧ください。］

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社及び当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期における国内の石油製品需要は、原油価格の高騰による石油製品価格の上昇などの影響により、産業用燃料油を中心に減少し、製品市況は昨年に引き続き厳しい環境が続きました。

このような経営環境の下で、当社グループは、新中期経営計画の数値目標の達成を最重要課題として、原油価格高騰により上昇した仕入コストを販売価格に早期転嫁すべく、値取りを優先した採算重視の販売に徹してまいりました。

この結果、当第１四半期の売上高は、採算販売の徹底を優先したことなどの影響もあり売上数量が減少して前年同期比 4.7％減の 219 億円となりましたが、損益面では 38 百万円の経常利益を確保しました。また、特別利益に投資有価証券売却益 68 百万円など 77 百万円を、特別損失に退職給付制度変更による制度終了損 52 百万円など 53 百万円を計上したことにより、四半期純利益は 51 百万円となりました。

当社グループの主力事業であります燃料油事業は、冬期に需要が増加する灯油・Ａ重油が中心であるため業績に季節的変動があり、売上高・利益ともに上半期（第１・２四半期）が少なく、下半期（第３・４四半期）が多くなる傾向にあります。

２．連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当第１四半期末の財政状態

当第１四半期末の総資産につきましては、19,523 百万円となり前連結会計年度末に比べ 4,221 百万円減少しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の支払いなどによる現金及び預金の減少 2,752 百万円と受取手形及び売掛金の減少 2,507 百万円によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末に比べ 4,272 百万円減少の 17,443 百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産は 50 百万円増加して 2,079 百万円となり、自己資本比率は 10.7％となりました。

資産と負債の減少要因は季節的変動等によるものであります。

(2) 当第１四半期末におけるキャッシュ・フローの状況

当第１四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動、投資活動、財務活動とも資金の減少となり、全体では前連結会計年度末に比べ 2,752 百万円減少し 1,992 百万円となりました。

資金減少の主な要因は、営業活動において 2,245 百万円の資金を使用したことによるもので、仕入債務の減少額 4,380 百万円が売上債権の減少額 2,507 百万円を上回ったことなどによるものであります。

３．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当第１四半期より、平成 19 年度法人税法の改正に伴い、減価償却資産の減価償却方法を改正後の法人税法に定める方法に変更しております。

4．（要約）四半期連結財務諸表

(1) （要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、%）

科　目	前第1四半期末 平成18年6月30日現在	当第1四半期末 平成19年6月30日現在	増　減		前連結会計年度 平成19年3月31日現在
	金　額	金　額	金　額	増減率	金　額
（資産の部）					
Ⅰ 流動資産					
現金及び預金	2,951	1,992	△959	△32.5	4,744
受取手形及び売掛金	11,361	11,515	154	1.4	14,023
たな卸資産	1,196	1,193	△2	△0.2	751
その他	265	787	521	196.6	284
流動資産合計	15,774	15,488	△285	△1.8	19,804
Ⅱ 固定資産					
有形固定資産	2,796	3,176	379	13.6	3,054
無形固定資産	84	70	△13	△16.5	80
投資その他の資産	833	788	△45	△5.5	805
固定資産合計	3,714	4,034	320	8.6	3,940
資産合計	19,488	19,523	34	0.2	23,744
（負債の部）					
Ⅰ 流動負債					
支払手形及び買掛金	10,888	10,987	98	0.9	15,351
短期借入金	2,215	1,715	△500	△22.6	1,715
その他	2,498	2,476	△21	△0.9	2,545
流動負債合計	15,601	15,178	△423	△2.7	19,611
Ⅱ 固定負債					
長期借入金	1,059	1,229	170	16.1	1,229
退職給付引当金	929	451	△477	△51.4	348
その他	487	584	96	19.9	527
固定負債合計	2,475	2,265	△210	△8.5	2,104
負債合計	18,077	17,443	△633	△3.5	21,716
（純資産の部）					
Ⅰ 株主資本					
資本金	5,527	5,527	－	－	5,527
資本剰余金	2,957	2,957	－	－	2,957
利益剰余金	△7,160	△6,507	653	△9.1	△6,558
自己株式	△3	△3	△0	6.1	△3
株主資本合計	1,320	1,973	652	49.4	1,922
Ⅱ 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	90	105	15	16.9	106
評価・換算差額等合計	90	105	15	16.9	106
純資産合計	1,411	2,079	668	47.4	2,028
負債・純資産合計	19,488	19,523	34	0.2	23,744

(2) （要約）四半期連結損益計算書

（単位：百万円、％）

科　目	前第１四半期 自 平成18年４月 １日 至 平成18年６月30日	当第１四半期 自 平成19年４月 １日 至 平成19年６月30日	増　減		前連結会計年度 自 平成18年４月 １日 至 平成19年３月31日
	金　額	金　額	金　額	増減率	金　額
Ⅰ 売上高	**23,093**	**21,997**	**△1,095**	**△4.7**	**100,668**
Ⅱ 売上原価	**22,188**	**21,044**	**△1,144**	**△5.2**	**96,273**
売上総利益	905	953	48	5.3	4,394
Ⅲ 販売費及び一般管理費	**947**	**938**	**△9**	**△1.0**	**3,936**
営業利益	△41	15	57	－	458
Ⅳ 営業外収益	**47**	**83**	**35**	**74.3**	**279**
Ⅴ 営業外費用	**50**	**60**	**10**	**20.0**	**211**
経常利益	△44	38	82	－	526
Ⅵ 特別利益	**58**	**77**	**18**	**31.7**	**149**
Ⅶ 特別損失	**15**	**53**	**38**	**251.9**	**51**
税金等調整前四半期（当期）純利益	△0	62	63	－	623
法人税、住民税及び事業税	23	11	△12	△53.5	42
法人税等調整額	0	－	△0	－	3
四半期（当期）純利益	△24	51	76	－	577

(3) （要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期 自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日	当第1四半期 自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日	前連結会計年度 自 平成18年4月 1日 至 平成19年3月31日
区　分	金　額	金　額	金　額
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	△0	62	623
売上債権の減少額	3,415	2,507	753
たな卸資産の増減額	△254	△442	190
仕入債務の減少額	△5,987	△4,380	△1,526
退職給付引当金の増減額	△244	103	△826
その他	△264	△96	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△3,336**	**△2,245**	**△784**
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	－	△498	△498
有形固定資産の取得による支出	△80	△75	△571
有形固定資産の売却による収入	24	7	205
投資有価証券の売却による収入	－	82	0
その他	△27	△9	463
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△83**	**△493**	**△401**
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	－	－	△330
その他	△15	△13	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△15**	**△13**	**△459**
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	**0**	**0**	**5**
Ⅴ 現金及び現金同等物の減少額	**△3,436**	**△2,752**	**△1,639**
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	**6,383**	**4,744**	**6,383**
Ⅶ 現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	**2,947**	**1,992**	**4,744**

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第１四半期（自 平成18年４月１日　至 平成18年６月30日）

（単位：百万円）

	石油事業	ホームエネルギー事業	レンタル事業	計	消去又は全社	連結
売上高	22,712	273	142	23,128	(34)	23,093
営業費用	22,775	238	155	23,170	(34)	23,135
営業利益	△62	34	△13	△41	－	△41

当第１四半期（自 平成19年４月１日　至 平成19年６月30日）

（単位：百万円）

	石油事業	ホームエネルギー事業	レンタル事業	計	消去又は全社	連結
売上高	21,638	268	145	22,052	(54)	21,997
営業費用	21,624	251	160	22,036	(54)	21,982
営業利益	13	16	△15	15	0	15

前連結会計年度（自 平成18年４月１日　至 平成19年３月31日）　【参考】

（単位：百万円）

	石油事業	ホームエネルギー事業	レンタル事業	計	消去又は全社	連結
売上高	99,072	1,217	737	101,027	(358)	100,668
営業費用	98,718	1,170	681	100,569	(360)	100,209
営業利益	354	47	55	457	1	458